

地域活動研究会の研究テーマ

「多様な世代で持続可能な地域活動するにはどうしたらいいか？」

メンバー：白井、河西、久保田、田中、土屋、山本

対象(届けたい先)：地域デビューに興味を持っている個人

調査内容：個人の地域デビューのモデルケースの調査

- ・うまく参加者をリクルーティングできている団体をピックアップして、その方がどのように参加に至ったかを調査(できれば、途中で離脱した方の話も含めて)
- ・団体参加に至るまでの「ジャーニー」をパターン化
(トリガーになった原体験など、表面的なきっかけだけではなく動機を深掘りしていく)



- ✓ 個人の共感を引き起こすもの
- ✓ 行動変容を起こすもの
- ✓ 何か行動を起こしたいが躊躇している人の後押しをできるような情報
(これなら自分でもできる！ こうすればよいのか！)と勇気と気づきを充てられるもの

成果物のイメージ



趣味満喫デュアラー



サーフィンや農業などの趣味を楽しむために、よく通うエリアがあったが、拠点を持てより深く楽しみたい。

自然癒されデュアラー



とにかく都会の喧騒から離れて、自然に触れたり、のんびりした時間を過ごしたりして、癒されたい。心を癒したい。

ふるさとデュアラー



都会育ちで故郷と呼べる場所がない。もしくは自分や配偶者の故郷を大切にしたい。地元の人と交流したいという願望も。

ブレ移住デュアラー



いつかは田舎に移住したいと考えているが、地域コミュニティになじめるかなど、移住前に試してみたい。

のびのび子育てデュアラー



自然に触れるようなさまざまな体験をさせたり、多世代交流で、多様な価値観に触れるような、のびのびとした子育てをしたい。

地域貢献デュアラー



都会の職場での仕事が、自分でなくとも代替の効くように感じ、自己承認要求が満たされない。東京で培ったスキルを生かして、地方で地域貢献し、自分の存在意義を感じたい。

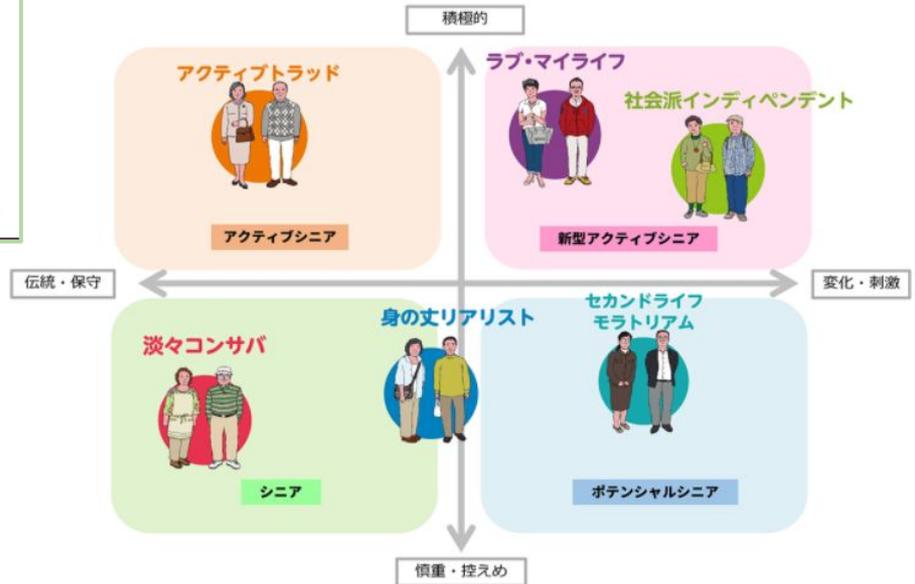
リクルートが、移住、二拠点生活者を「デュアラー」という造語によって命名し、彼らを目的別にタイプ分けをした。

https://www.recruit-sumai.co.jp/sumai/2019_dualer.html

ビデオリサーチが、考え方も行動も多様化・複雑化しているシニア層を理解するための新たな切り口として、“価値観”で分類したセグメント。

価値観は6タイプに分類され、それぞれを行動が積極的か控えめか、志向が伝統的・保守的な傾向か変化や刺激を好む傾向かという2軸4象限上にプロットしています。

<https://www.videor.co.jp/digestplus/title/2018/01/7717.html>



進捗状況

タスク	タスク内容	アウトプット	
①地域活動の 絞り込み	地域活動との言葉をチーム内で共通言語化した。 社会的テーマ活動に限定し、趣味・仕事は含まない。	私たちにとっての 「地域活動」とは？	P4
②地活ジャー ニーの仮説	メンバーの経験を元に、地域活動を始める前後で感じる 阻害要因と乗り越え方の仮説を定義した。	地活ジャーニー仮説 インタビュースクリプト	P7
③活動者への インタビュー	仮説から確認ポイントを導き、インタビュー。	インタビューシート	P10
④活動タイプ 定義と分類	インタビューワーカーのタイプを定義し分類。 タイプを網羅できるよう、候補者をリストアップ。	活動タイプ マトリックス	P12
⑤アンケート 定量調査	定性データに厚みを持たせるためのアンケート調査 (定量はとれたらとりたい)	③④を裏付けるデータ	
⑥最終成果作成	①～⑤の内容を元に最終成果物を作成	デュアラーのようなもの	

繰り返し

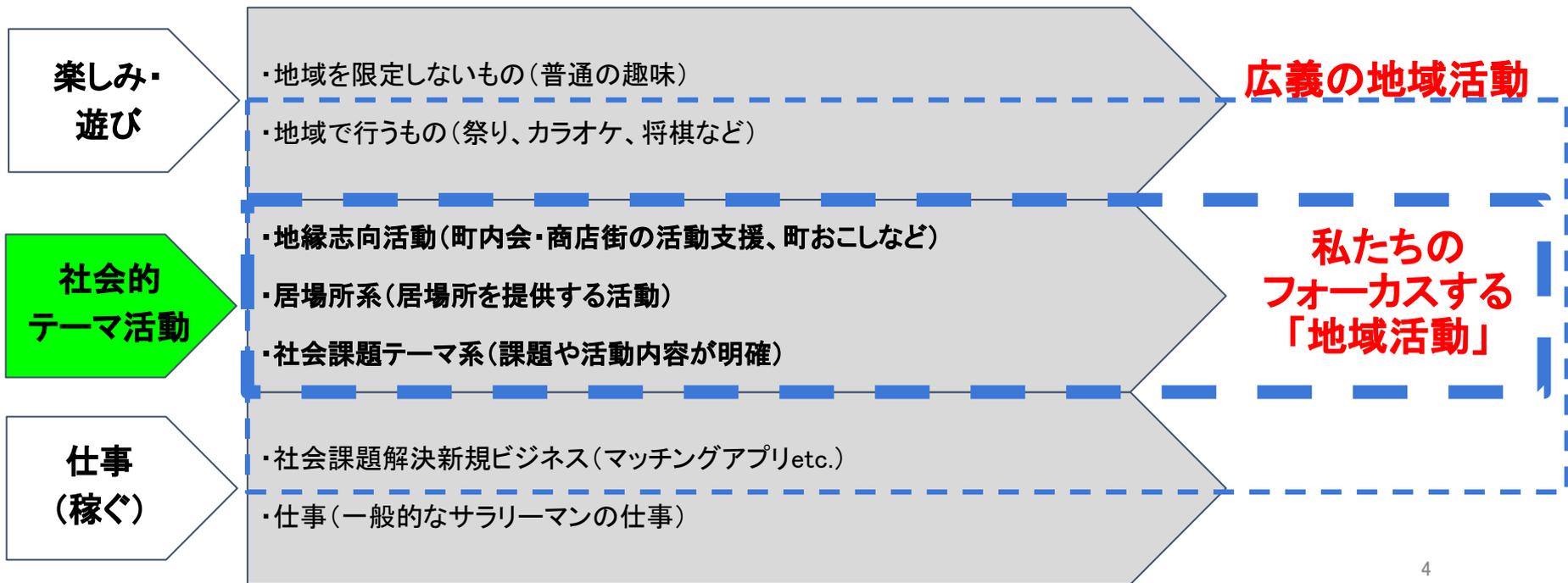
現在の進捗

① 地域活動の絞り込み



私たちのフォーカスする地域活動＝社会的テーマ活動

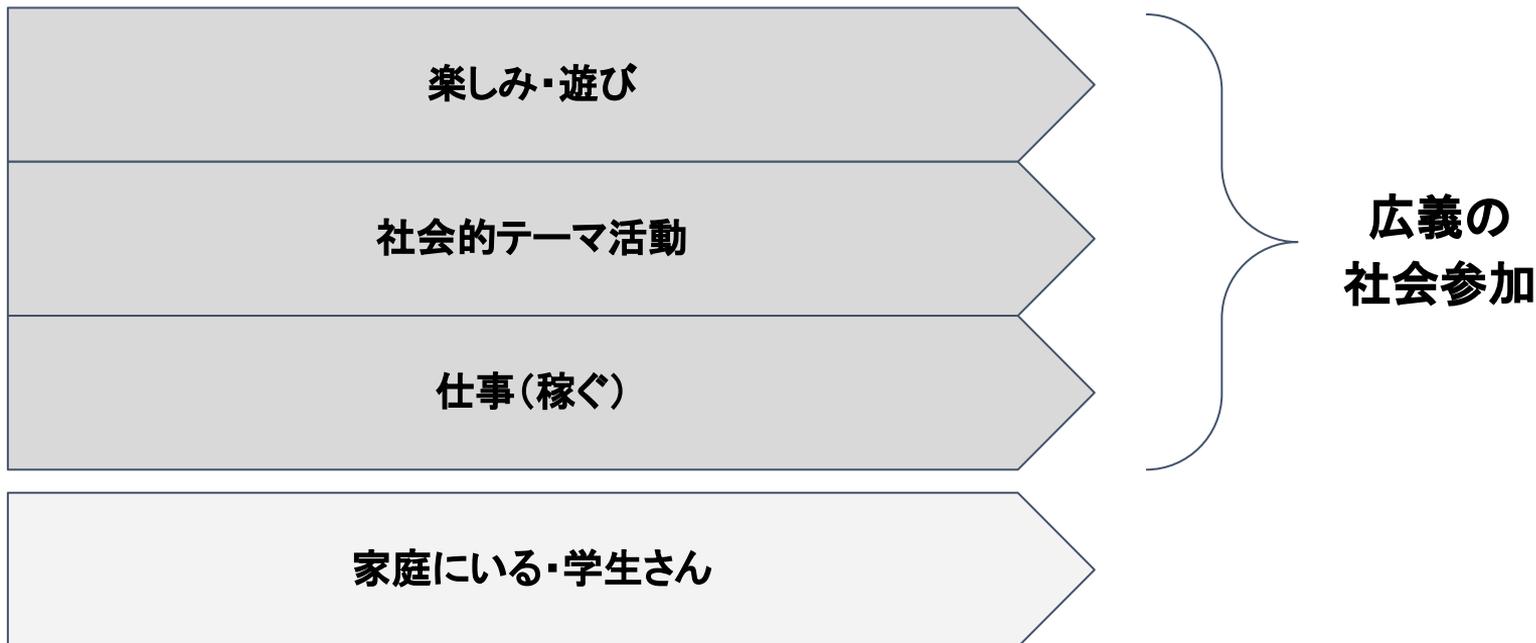
- 地域活動は広くとらえることもできる(各々の境界は曖昧)
- 当チームでは、調査プロセスとメッセージをシャープにするため絞り込んだ



① 地域活動の絞り込み

1 時間の使い方を4つに分ける

- 上の3つの境界線は曖昧
- 人により、ライフステージにより、それぞれのウェイトは異なり、変化する



③ 活動者へのインタビュー

「団体の活動内容によってあつまる人のタイプが異なるのでは？」という仮説のもと、①で定義した地域活動の絞り込み条件に沿って、インタビュー先を選定。

	団体の分類	活動の特徴	タイプの仮説
地域活動	社会課題 テーマ系	テーマとする課題が明確だが、活動は多岐にわたる。場合によっては 高い専門性 が求められる。 (新宿食支援研究会)	地活と本職のリンク度が高い？
		活動内容が明確で 専門性が低い 。 (プラチナ美容塾、新宿Base)	色々なタイプがいるのでは？
	居場所系	集まる場所が明確 。 (ドリームタウン)	活動よりも場所を求める人が多いのでは？
	地縁志向 活動	商店街、自治会	

③ 活動者へのインタビュー



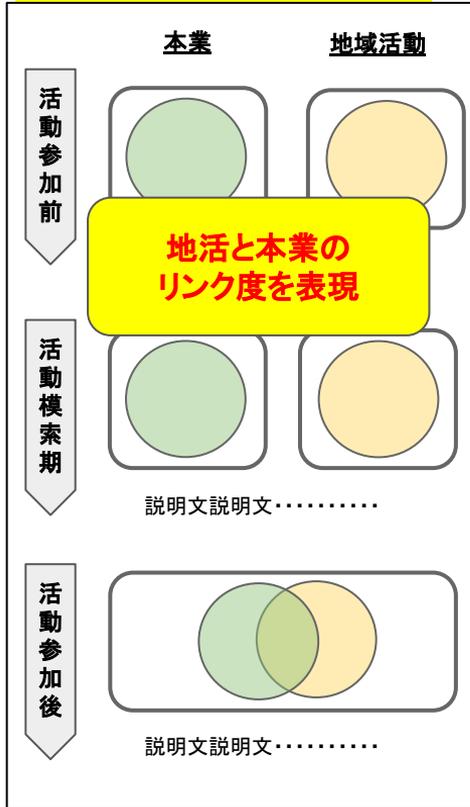
- インタビュー対象者
 - 地域活動(地活)に参加済みで活動を楽しんでいる方
 - 未経験者は対象外とした
- 目的
 - **楽しんでいる方の経験から、ベストプラクティスを抽象化する**
- ベストプラクティスを抽象化するための確認するポイント
 1. **本業と地活の相関性**(本業と地活が近しいか、そうでないか?)
 2. **本業、地活のモチベーション差異**(差異があるか、その理由は?)
 3. **地活ジャーニー**(活動に参加する前後の阻害要因とリターン)
 4. **モチベーションMAP**(承認欲求、利他心など、地活参加による影響を確認)

●●さんを一言であらわすなら、、、

ヒアリングまとめ Sample

共感をさそうために「あ、こんな人いそう」と思えるように平たい表現で、人物像を抽象化する

キャリアと地域活動の相関性



モチベーション

仕事におけるモチベーション

- ご本人の仕事におけるモチベーションの源泉・中核となるものを一言で説明

地域活動におけるモチベーション

- ご本人の地域活動におけるモチベーションの源泉・中核となるものを一言で説明

地域活動の変遷(地活ジャーニー)

■ 地域活動参加前

地域活動前はどんな方だったか。キャリアだけでなく生活様式や趣味嗜好、考え方など。デモグラフィックを中心にサイコグラフィックも記載。

- 阻害要因
 - 地域活動参加前の、地域活動に対する阻害要因、困ったことは何だったか。
- 乗り越え方
 - それをどうやって乗り越えたか。

参加前後の
阻害要因と乗り越え方

■ 参加後

地域活動参加後は、どのような方になったか、その変化の要因、その変化をしたことによる影響などはどのようなものだったか。ご自身で自覚していること以外に周りから言われること。キャリア感、価値観、ありたい姿など。

- 阻害要因
 - 地域活動を継続していく上での阻害要因、困ったことは何か。
- 乗り越え方
 - それをどうやって乗り越えたか、乗り越えているか。

モチベーションMAP

	本業	参加前	参加後
自己実現			
利得			
能力発揮			
学習・成長			
健康			
使命感			
利他心			
楽しみ・共感			
自己効力感			
承認・賞賛欲求			
地域・絆願望			
帰属志向			
居場所の確保			
言い訳・逃避			

モチベーションMAP説明

SAMPLE

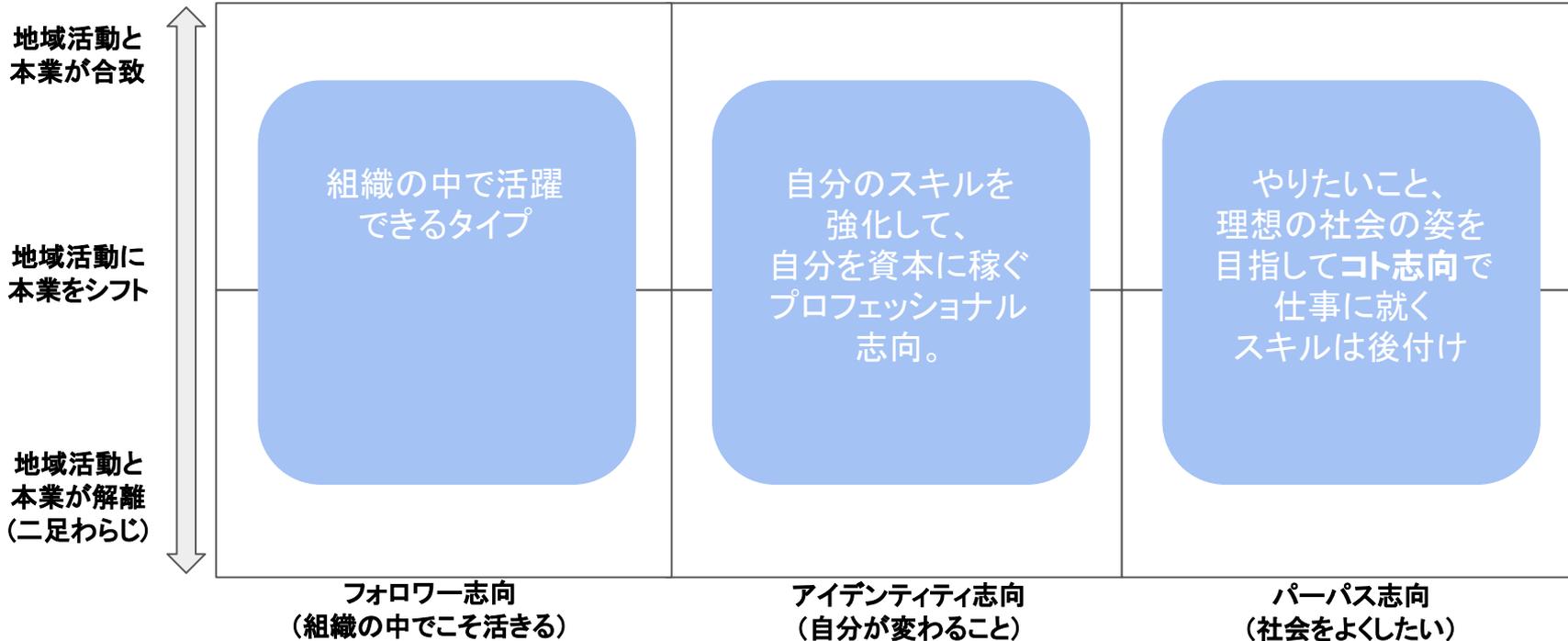
分類	具体例
自己実現	活動することによって生きがいや生活の充実感を感じる。
利得	お金を稼ぐことができたり、将来のビジネスチャンスにつながる。
能力発揮	自分の能力を活動することで生かしたい。
学習・成長	活動を通じて人生や仕事の学び・経験を得る。スキルや人間的な成長をする。
健康	健康や体力を維持・強化したい。
使命感	そのことを自分がやらなければならないという信念や使命感を持っている。
利他心	他人を助けたい。社会をよりよくしたい。
楽しみ・共感	活動することが楽しい。活動内容が面白い。活動の意義に共感する。
自己効力感	活動することで自分が役立っており、役立つことができる人間だという実感を得られる。
承認・賞賛欲求	活動することで自分の存在を認められたい。活動していることを褒めてほしい。
地域・絆願望	住んでいる地域で何かしたい。地域の知り合い・友人を作りたい。
帰属志向	あるグループの中で役割をはたすことに充足を感じる。(ガツガツしない)
居場所の確保	決まって時間を過ごせる場所がある。組織の一員である。
言い訳・逃避	やっていないことで非難されたくない。自分の問題から目を背ける。

④ 活動タイプ定義と分類



本業と地域活動の相関性、当人のキャリアの方向性 の2軸でタイプを分類

本業と地域活動の相関性



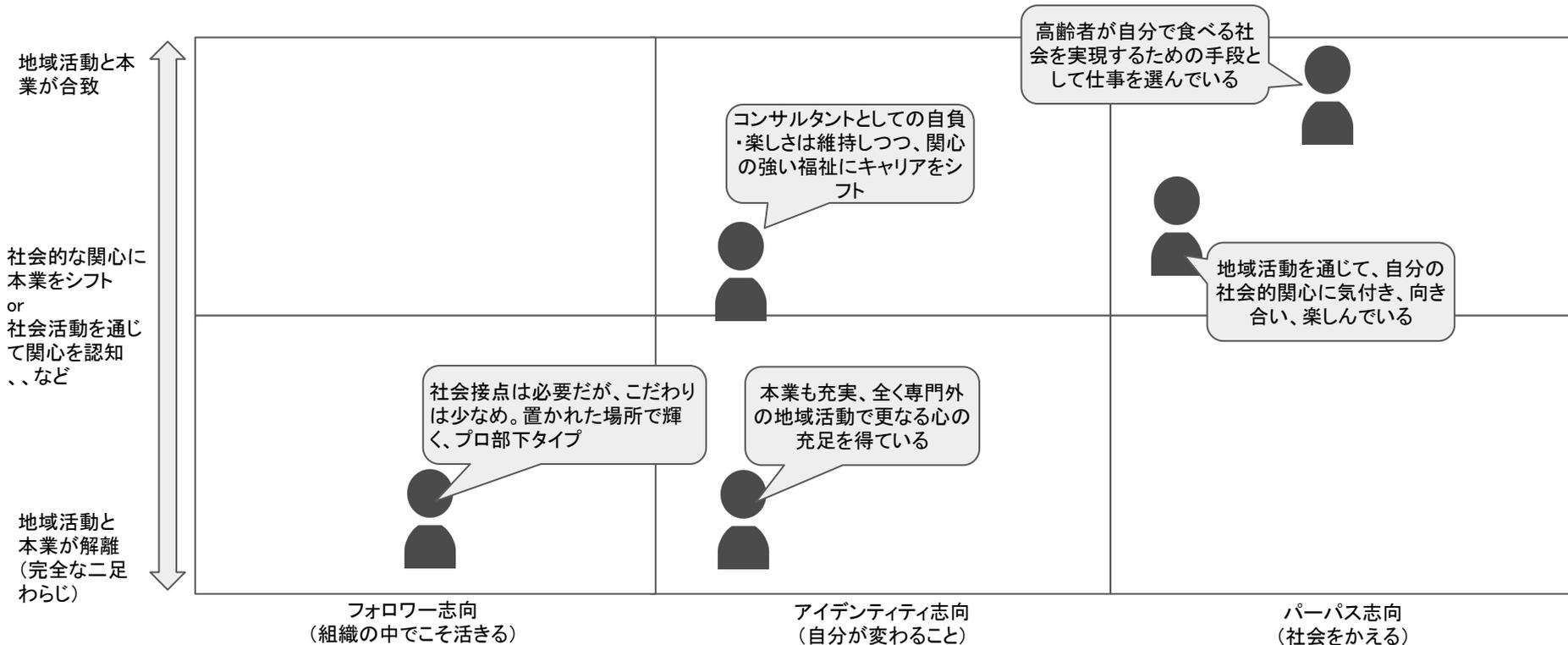
キャリアの方向性(目的軸)

④ 活動タイプ定義と分類



分類に沿って、網羅的にインタビューを進めている。

地域活動の関わり方や関心は多様だが、共通して言えるのは、会社・家庭とは別の社会接点の必要性を感じていること



今後の予定

インタビューは継続しつつ、定性データに厚みを持たせるためのアンケート設計に着手

タスク	タスク内容	アウトプット
①地域活動の 絞り込み	地域活動との言葉をチーム内で共通言語化した。 社会的テーマ活動に限定し、趣味・仕事は含まない。	私たちにとっての 「地域活動」とは？
②地活ジャー ニーの仮説	メンバーの経験を元に、地域活動を始める前後で感じる 阻害要因と乗り越え方の仮説を定義した。	地活ジャーニー仮説 インタビュースクリプト
③活動者への インタビュー	仮説から確認ポイントを導き、インタビュー。	インタビューシート
④活動タイプ 定義と分類	インタビューワーカーのタイプを定義し分類。 タイプを網羅できるよう、候補者をリストアップ。	活動タイプ マトリックス
⑤アンケート 調査	定性データに厚みを持たせるためのアンケート調査 (定量はとれたらとりたい)	③④を裏付けるデータ
⑥最終成果作成	①～⑤の内容を元に最終成果物を作成	デュアラーのようなもの

繰り返し



現在の課題、アドバイス頂きたい点

1. 知見を頂きたいこと

- a. 「活動に踏み出す人」とそうでない人の差異は何が考えられるでしょうか？ やる気のある人はやる。と言ってしまうとそれまでなので、阻害要因や障壁のバリエーションを参考情報として伺いたいです。
- b. 活動を始めるための阻害要因は様々だと思いますが、タイプを跨いで共通する傾向などがあれば教えてください。

2. 調査方針についてアドバイス頂きたい点

- a. 阻害要因を感じている、という人が少ない(聞き出せていない)生々しいインサイトを引き出すにはどうしたらよいのでしょうか？
- b. タイプ分けの入り口としては、本業を軸にタイプを定義・分類していますが、調査観点として有用であるか、アドバイスをお願いします。
- c. 最終成果物のまとめにあたって、地域活動に参加した結果どのようなリターンを得ることができたかを示す、地域活動の楽しみ方軸を定義しようと考えています。リターン軸について、どのようなタイプ分類が考えられるか、アドバイスをお願いします。(例:地域活動を自己啓発の手段として楽しむ、なんとなくよいことをしたかったので自己満足を得た、居場所をつくれて安心した、など)

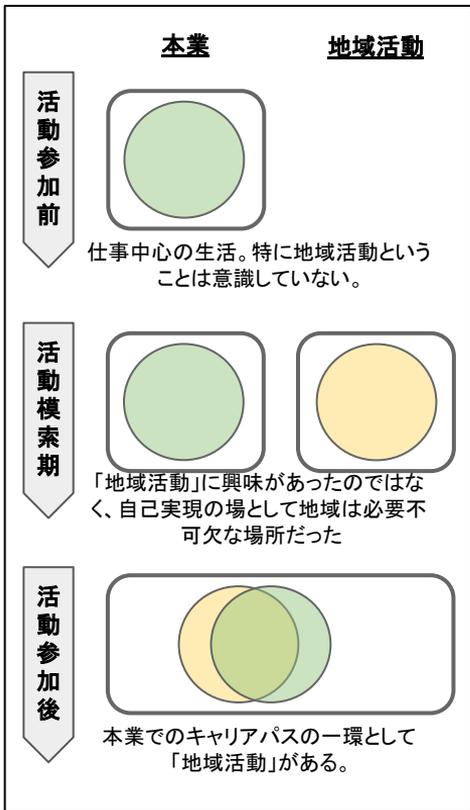
調査のサンプル

インタビューをどのようにまとめているか(抽象化しているか)のサンプルです。

地域活動はキャリアパスのインプットとアウトプットの場として活用・活躍する地活本業一体型タイプ

自己実現の為の地域活動。やりたいコトが地域活動で実現できている。キャリアパスのうちの1つに地域活動がある。本業では実現できなかったやりたいことが地域活動で叶えられている。活動を通して自身の志・キャリアともブラッシュアップできている。

キャリアと地域活動の相関



モチベーション

仕事におけるモチベーション

- 自分が目指す「管理栄養士」としての最終目標を切り開いていきたい。

地域活動におけるモチベーション

- キャリア形成に不可欠な活動であり、異業種との横のつながり・ネットワーク、懇親会でのコミュニケーションも大きなモチベーションの1つ。

地域活動の変遷

■ 地域活動参加前

目指すキャリア像はあるものの、本業では実現しきれず、実現手段を模索中。職場のネットワークでは不十分だった。ネット検索、口コミなど情報収集を心掛けていた。

- 阻害要因
 - 情報不足
- 乗り越え方
 - ネット検索、口コミ。積極的に勉強会など参加。

■ 参加後

自身のやりたいことができ、充実感を得ている。学習意欲を満たせる環境にある。また周りからの期待、自身の活躍(講演会講師など)も実現でき、承認・賞賛欲求も満たされている。さらに独立し、コンサル・指南役になる、という志実現の為の将来像も描くことができている。

- 阻害要因
 - ①本業との境界線の引き方。
 - ②活動の為のタイムマネジメントに苦慮。プライベートの時間を大きく割いている。
- 乗り越え方
 - ①はコロナ禍により、食事提供イベントがなくなった為、阻害要因ではなくなった。(環境変化による解決)
 - ②は試行錯誤中

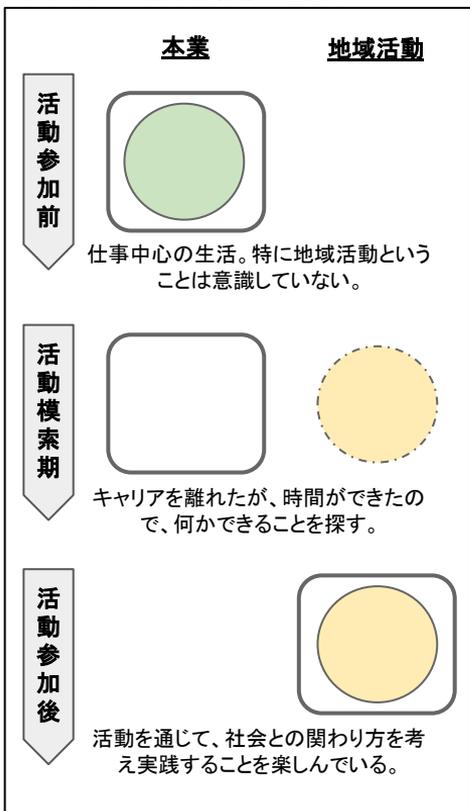
モチベーションMAP

	本業	参加前	参加後
自己実現	○	○	○
利得	○	○	○
能力発揮	○		○
学習・成長	○	○	○
健康			
使命感	○	○	○
利他心	○	○	○
楽しみ・共感		○	○
自己効力感		○	○
承認・賞賛欲求			○
地域・絆願望			
居場所の確保			
言い訳・逃避			

元バリキャリ女子、キャリアを離れたが有意義な時間を過ごしたい主婦

元々は総合職でバリバリ働いていたが、家庭の事情などでキャリアを退いた。時間が確保できるようになったので何か活動を始めたいタイプ。介護や子育てを終えた総合職の女性に多いかも。関心興味よりも、暇を持て余す・世間体が気になるなどの理由がきっかけで活動を始めることが多い。

キャリアと地域活動の相関



モチベーション

仕事におけるモチベーション

- 成果志向。仕事や組織に対する責任感。

地域活動におけるモチベーション

- 楽しさ重視。活動が人に与える好影響を実感できることが楽しい。

地域活動の変遷

■ 地域活動参加前

介護、子育ても落ち着いてきて時間を持て余すようになった。趣味などの浪費活動よりも何か生産性のある活動をしたほうが世間体がいいので、良さげな活動を探している。

- 阻害要因
 - 介護など専門性が高く、人の生活に不可欠な重たいものは避けたい。まずは自分にできるかどうかの見極めが大事。
- 乗り越え方
 - 活動見学してみても「できそう」ということが分かったので参加。

■ 参加後

仕事は責任感・成果達成重視だったが、地域活動は純粋に楽しめる。活動や自分のアイデアが社会や受益者に及ぼす影響を実感できて楽しい。活動を通じて自分が思い描く「理想の社会像」が具象化されて、それに関われることにやりがいを感じている。

- 阻害要因
 - 活動の参加者の動機は様々。周りの人とバランスをとりながらやるのが難しくもあり、やりがいがあるところ。
- 乗り越え方
 - 相手の意思を尊重し、バランスよく委ね任せること。

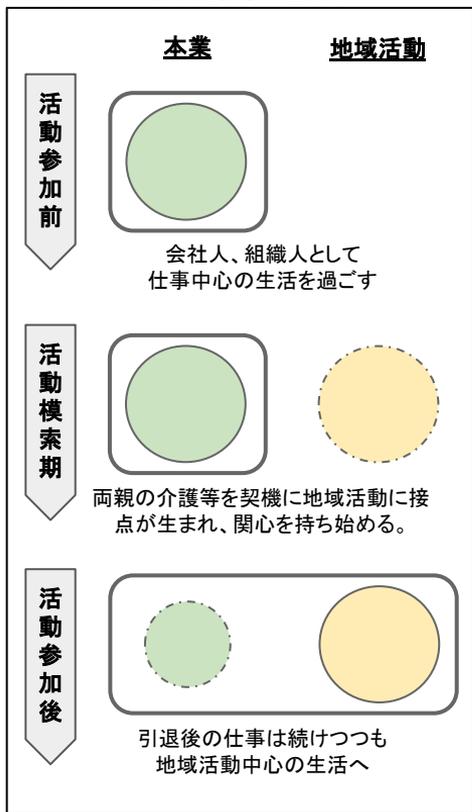
モチベーションMAP

	本業	参加前	参加後
自己実現			○
利得			
能力発揮	○		
学習・成長	○		
健康			
使命感	○		
利他心			○
楽しみ・共感			○
自己効力感	○		○
承認・賞賛欲求	○		
地域・絆願望			
帰属志向			
居場所の確保		○	
言い訳・逃避		○	

企業人から地域のプレイヤーへのライフシフト(組織OSから個人OSへ)

長年勤めた会社を定年で引退。人生の後半戦は地域で暮らす時間が増えることに気がつき、自分の住む地域で身近な役割を果たすことで自己実現をしたいと考えている。窮屈な企業組織の論理を離れて、個人として自分自身がやりたいことを自由にするチャンスと考えている。

キャリアと地域活動の相関



モチベーション

仕事におけるモチベーション

- 与えられた役割を果たす。仕事の意義に自分自身で納得して取り組む。

地域活動におけるモチベーション

- 自分自身で役割を見つけて自由に取り組む。感謝されることがやりがい。

地域活動の変遷

■ 地域活動参加前

充実した仕事人生の一方、心の中では社会貢献への関心もあり、聴覚障害者の支援活動に参加するも時間の制約で離れる。その後、ご両親の介護等を通じ、後見人制度に関心を持つ。その流れで社協の講座に参加し、後見人以外の地域活動にも関心を持つ。

- 阻害要因
 - 時間の制約(勤務中は土日の地域活動、自分の時間がとれない)、 **プライドの問題**(自分の納得できる役割が与えられない場合はNG)
- 乗り越え方
 - 社協の掲示板やパンフレットから情報を得る。(アンテナをはる?)
 - 関心を持ったところには、飛び込んでみる。

■ 参加後

会社生活を引退後、地域活動に本格参加。自分自身に何ができるかを棚卸しし納得したうえで活動を選択。感謝されることに喜びを感じる。組織人としてでなく、自分軸で地域での役割をみつめて広げていくことに楽しみややりがいを感じている。

- 阻害要因
 - なし(むしろ精力的に活動を広げていきたいと思っている段階)

モチベーションMAP

	本業	参加前	参加後
自己実現	○		○
利得			
能力発揮		○	○
学習・成長			
健康			
使命感		○	○
利他心			
楽しみ・共感	○		○
自己効力感	△		○
承認・賞賛欲求			
地域・絆願望			○
帰属志向			
居場所の確保	○		○
言い訳・逃避			